

7. イーサネット装置の使用

現在の製品がつながったネットワークについて確認作業を行います。使用中のPCに割り当てられたIPを確認します。
 開始(実行) → CMD → ipconfig/all



- 2. 前章のETNタワーランプの連結図のように、一つのハブにPCおよびETN Tower Lampをつないだため、 PCとタワーランプはネットワークにつながりました。
- 3. 提供されたCDまたはホームページで、マニュアルおよびライブラリーとテストプログラムをダウン ロードします。
- 4. ダウンロードしたマニュアルおよびライブラリーファイルの圧縮を解凍すると下記の名前のファイル が作られます。製品開発時に必要なプログラムサンプルと使用方法が記されています。

[ダウンロード]



📜 1.Dev. ETN Program Sample

開発時に必要なサンプルプログラム(x32bit用とx64bit用提供)

📙 2.How to use

製品使用マニュアルおよびライブラリーの使用方法

5. ダウンロードした"ETN テストPROGRAM.zip"という圧縮を解凍すると下記の名前のフォルダが作られます。

📜 1.ETN Test Program

ETN装置試験の前にIPをセッティングするためのプログラムフォルダ

📜 2.IP Set Program

ETN装置をテストするためのプログラムフォルダ

7. イーサネット装置の使用

- 6. IP Set Programフォルダ内の"Mac_Setting.exe"プログラムを実行します。
 - ・図のようにプログラムが実行されたら"Find Mac Address / Select"項目内の"Mac Find"ボタンを押します。
 ・Mac Findコンボボックスをクリックすると、つながった装置のMac Addressが現われます。
 - (もしMac Addrが現れない場合は、タワーランプの連結状態および電源が正常に供給されているかを確認 してからやり直してください。)
 - ・変更する装置のMac Addrを選択した後、"Read"ボタンをクリックします。
 - ・"Mac config status"で工場出荷時に設定された情報が正常に読み込まれているかを確認します。
 - ・前章で確認したユーザのネットワーク情報(サブネットマスクゲートウェイ)の設定値を個々のテキストボックスに値を入力して、IP_AddrはユーザのPCのIP Addrと異なるものを設定した後、Write ボタンを押してセッティングします。
 - ·Portは基本的に"20000"にセッティングされており必要に応じてポート番号を変更して使うことができます。
 - ・タワーランプの電源を切ってから再び接続してください。

1		
Mac config Status—		
IP_Address	· · ·	READ
Subnet Mask		
Gateway		WRITE
-		
Q_sett MA	MT	SETT
7:19:48 Success l	JDP Setting	

7. ETN Test Programフォルダは下記のファイルで構成されます。

QLight_Lamptest_TCP.exe

🔍 QTvc_dll.dll



項目	詳しい内容
Network Information Setting	- "TCP/IP" 欄のIPアドレスと"TCP/PORT"にイーサネットタワーランプ に設定したポートを入力
Lamp Control	- ON: ボタンをクリック時 Lamp ON - ON/OFF: ボタンをクリック時 Lamp Flash - OFF: ボタンをクリック時 Lamp OFF
Model Select	- WS: 警告音5音(単音) - WP: 特殊 警告音5音(単音) - WM(1): メロディ5音(単音) - WA(1): アラーム5音(単音) - WB: Software Buzzer 5音(Speaker 仕様) - Buzzer: ブザー 5音
Sound Select	- "Model Select"で決められたモデルによって5つの音色を選択

8. "QLight_Lamptest_TCP" 프プログラムを実行します。

・ "Model Select"はWS、WP、WM、WA、WBなどの音色の種類を選ぶことができ、オーダー時に音色を選択しなければなりません。

